

令和5年12月20日(水)

表彰伝達

終業式の前に表彰伝達が行われました。表彰伝達では、運動部と工業・文化的部の表彰が行われ、その成果を讃えました。

自転車競技部	○第45回四国地域自転車道路競走大会(R5.11.5) 42kmインデヴィデュアルロード・レース 第3位 村上さん
柔道部	○愛媛県高等学校柔道新人大会(R5.11.19) 男子個人60kg級 第3位 松岡さん 女子個人78kg超級 第2位 高橋さん ○第23回あいテレビ杯(R5.12.10) 63kg超級 第3位 高橋さん ○第5回四国高等学校柔道新人大会(R5.12.17) 女子個人78kg超級 第3位 高橋さん
工業・文化的部	○第43回全国高校生プログラミングコンテスト(R5.11.11) 第3位 大森さん 村上さん 日野さん 秋山さん 野原さん ○第37回愛媛県高等学校総合文化祭(R5.11.18) 奨励 野本さん ○第26回マイコンカーラリー四国大会(R5.11.25) Camera Class 第2位 木村さん 第3位 港さん



自転車競技部



柔道部



全国高校生プログラミングコンテスト



愛媛県高等学校総合文化祭



マイコンカーラリー四国大会

第2学期終業式

表彰伝達後に第2学期終業式が行われました。校長式辞で宮地校長は、「2学期には多くの学校行事が計画されており、予定通り実施することができました。計画通りに実施できることが、何よりも有難く、とてもうれしく感じました。どの行事も、みなさんの取組はとても素晴らしいものでした。改めて、生徒のみなさんの活躍や成果を讃えたいと思います。翻って世間では、大谷翔平選手の話で持ち切りです。大谷選手の振る舞いは、アメリカでも日本でも高く評価されていますが、そのほとんどは私たちにもできることです。誰でもできるけれども、多くの人ができないこと。それを高校生の頃から実行し、大リーグで脚光を浴びる選手になっても、変わらず行っているところに、大谷選手の、本当の凄さがあるように感じます。このことは、野球に限らず、どのスポーツでも、そして、松山工業高校での学校生活にも当てはまることができると思います。近代野球の常識を覆す「二刀流」を実践している大谷選手から、私たちが学ぶべきことは、普段の行動や心遣いかもしれません。明日から、およそ20日間の休みが始まります。今年一年間を振り返って、これまでの自分を見直すとともに、新年には、改めて目標を設定し、引き続き、さらなる高みを目指して、新たな一歩を踏み出すことができるよう準備し、努力を積み重ねてほしいと思います。」と述べました。



校長式辞 宮地校長



第2学期終業式